



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

陸上競技

競技のみどころ

- より速く、より強く、より高く、陸上競技は、古代オリンピックを起源とする最も伝統的なスポーツの一つです。
- 陸上競技の記録は人間のロマンであり、「走る」、「跳ぶ」、「投げ」などの人間の基本的な運動能力の限界を測ります。ライバルとのせめぎ合い、そして記録への飽く不尽な挑戦、そこには自分革命への戦いがあります。
- 国体では、成年男女、少年男女で短距離走、中・長距離走、リレー競技、ハードル競技、投てき競技、網球競技など50を超える種目が実施されます。



かがしま国体に向けた思い

- アスリートのフォームは、最新の科学的知見に基づいて最も合理的なものです。研ぎ澄ました走りや跳躍、投てきに注目してください。
- 国内トップクラスと伍して競う優秀選手・チームの勇姿をお見せできるよう、鹿児島陸上競技協会では、関係者一丸となってさらなるレベルアップに取り組みます。
- 「かがしま国体」では、鹿児島の陸上競技への興味・関心を高めるとともに、スポーツの向上及びその文化の深化のために、優秀選手・チームの活躍を期待しています。



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

水泳(競泳・水球)

競技のみどころ

- 日本の競泳は、近代オリンピックにおいて数多くのメダリストを輩出するなど世界でもトップクラス。また、水球は、激しくボールを奪い合うことから「水中の格闘技」とも呼ばれています。
- 競泳は、すべてタイムで順位を決定します。また、水球は、深さ2m以上の着の着かないプールの中で体を制し、相手ゴールにボールをシュートして得点を競います。1チーム7人で1リポート8回を4リポート戦い、総得点で勝敗を決します。
- 国体では、競泳は、成年男女、少年男女で自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライの4種目や個人メドレー、リレーが実施されます。また、水球は、少年男子で実施されます。



かがしま国体に向けた思い

- 鍛え抜かれた肉体が速くや技術が美しい水、水しぶきをあげて躍動します。その勇姿と音と空と地のぶつかり合いこそが水泳競技の魅力です。国内トップクラスの活躍に注目してください。
- 鹿児島県水泳連盟では、選手・スタッフ一丸となってさらなるレベルアップに取り組みます。
- 「かがしま国体」では、すべての種目において、優秀選手・チームの上位入賞を目指します。



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

水泳(シンクロ・飛込)

競技のみどころ

- シンクロナイズドスイミングは、音楽に合わせて水中で様々な動きをつくり、技の完成度や同期性、表現力などを競います。また、飛込は、水素での半か開脚で華麗な技を繰り出し、技の完成度と美しさを競います。
- シンクロナイズドスイミングは、テクニカルルーティンとフリールーティンの合計得点で順位を競います。また、飛込は、フォームの確実さや美しさ、入水の姿勢や角度などが審査され、その得点によって順位を競います。
- 国体では、シンクロナイズドスイミングは、少年女子でデュエット(2人1組)が実施され、飛込は、成年男女、少年男女で、男子6選技、女子5選技が実施されます。



かがしま国体に向けた思い

- 正しさ、確実さ、美しさなど競技全体の印象が重要な要素です。国内トップクラスの表現力や躍動感に注目してください。
- 鹿児島県水泳連盟では、ジュニア世代を中心に選手の発掘・育成に取り組み、競技会場となる鴨池公園水泳プールで日々、シンクロナイズドスイミングや飛込の練習に励んでいます。
- さらなるレベルアップに取り組み、「かがしま国体」では、優秀選手・チームの上位入賞を目指します。



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

サッカー

競技のみどころ

- 世界的に競技人口の多い球技で、日本でもプロ・アマチュア・学生など幅広い層に親しまれています。また、世界一になった「なでしこジャパン」の活躍もあって、近年では女子サッカーも注目されています。「鹿児島」で若い才能が輝き放ち、将来、日本を代表する選手を目指す選手も出てくるでしょう。
- 試合では、ドリブルやパスで相手ゴールにボールシュートして得点を競います。
- 国体では、成年男子、女子、少年男子でそれぞれ70分(自慢者各35分)の試合が実施されます。



かがしま国体に向けた思い

- 成年男子は県内の社会人・大学生を中心に、少年男子は高校1年生の選手を中心に構成し、また、女子は県内の女子選手とふるさと選手を中心に構成します。
- 鹿児島県は多くの日本代表・プロ選手を輩出しています。鹿児島県サッカー協会では、選手・スタッフ一丸となってさらなるレベルアップに取り組み、「かがしま国体」では、サッカー強県実現と、全県的に優秀な選手を輩出します。



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

テニス

競技のみどころ

- 1874年にイギリスで発祥したとされ、日本にもこの頃(明治時代)に伝わりました。近代オリンピックにおいて、日本初のメダル獲得となった競技でもあります。シングルスやダブルスのストロークラリーやダブルスのスピートボールなど注目されています。
- 試合では、サーブに始まり、どちらかのプレーヤーが相手コートに返球できなかった場合に相手の得点となります。
- 国体では、成年男女、少年男女でチーム対抗の3試合(シングルス試合・ダブルス試合)が実施され、2勝すれば勝利となります。



かがしま国体に向けた思い

- 昭和47年に鹿児島県で開催された第27回国民体育大会(太陽国体)を契機に、鹿児島県のテニス人口は飛躍的に伸び、若い選手だけでなく、生涯スポーツとしてシニア世代にも普及してきました。
- 鹿児島県テニス協会では、優秀選手・チームの活躍が鹿児島県テニス界の発展に寄与すると確信し、一丸となってさらなるレベルアップに取り組みます。
- 「かがしま国体」では、個人の名誉と誇りを胸に、そして、県民の応援を強力な味方に、「チーム鹿児島」で全力を尽くします。



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

ボート

競技のみどころ

- 波や風などの自然を相手に、一舟乱れぬ動きで水面を駆け抜けるクルー。スタート直後はすべてのクルーが全力で漕ぎ、一気にトップスピードに乗ります。漕ぎ加減していく様子や漕ぎにこたわる音や水しぶきは迫力満点、スピードや中盤以降の漕ぎ加減など、そのパフォーマンスに注目です。
- 距離1000mのコースで競い、決着線(フィニッシュライン)を駆け抜け通過した時点で順位が決定します。
- 国体では、成年男子で1人1本ずつのオールで漕ぐ選手3名ずつのアリア(選手4人、舵手1人)、成年女子、少年男女で2本のオールで漕ぐ舵手2名とオール手(選手4人、舵手1人)、成年男女、少年男女でダブルス(選手2人)、シングル(選手1人)が実施されます。



かがしま国体に向けた思い

- 大隅湖や川内川などで日々練習に励んでいます。鹿児島県ボート協会では、フィジカルの強化に取り組むとともに、「鹿児島ボートクラブ」を設立し、「かがしま国体」開催時に高校生になる年代の育成・強化にも力を入れています。
- 「かがしま国体」では、優秀選手が活躍し、鹿児島県のボート競技がさらに発展することを期待しています。大きな声援で、クルー、そしてボートをぜひ応援してください。

実物のパネルはA1サイズです。